

報告 / 第3期スタンフォード大学遠隔講座

高校教育課

◎概要

- ・スタンフォード大学と大分県教育委員会が共同で提供する県内の高校1～2年生向け同時双方向型オンライン遠隔講座（各講座90分）。
- ・スタンフォード大学と連携した講義、ディスカッションやプレゼンテーション等を通じて、英語で世界と渡り合えるグローバル人材の育成を目指す。
- ・令和3年度は、10月～3月の間に全10回を実施し、グローバルリーダー育成成塾から希望者30名（県内16校）が参加。

【1回ごとの講座構成】

- ① 事前課題：同大学から配信される動画の視聴＋文献の閲読
- ② 当日：同大学の専任講師と各回のゲストスピーカー（現地起業家等）による講義＋質疑応答＋意見交換
- ③ 事後課題：課題レポート提出＋専用オンライン掲示板での意見交換

◎年間スケジュール

第1回	10/9(土)	「ディスカッションの技術」
第2回	10/23(土)	「プレゼンテーションの技術」
第3回	11/20(土)	「日系アメリカ人の歴史Ⅰ」
第4回	12/18(土)	「芸術と文化」
第5回	1/8(土)	「SDGsと地方創生Ⅰ」
第6回	1/22(土)	「SDGsと地方創生Ⅱ」
第7回	2/12(土)	「シリコンバレーと起業家精神Ⅰ」
第8回	2/26(土)	「シリコンバレーと起業家精神Ⅱ」
第9回	3/12(土)	「日系アメリカ人の歴史Ⅱ」
第10回	3/13(日) 19(土) 20(日)	「最終プレゼンテーションⅠ～Ⅲ」

テーマ：SDGsの達成に向けて私ができること

時間：1人5分程度 × 30名

◎今後の予定

【第3期】

- 7月 募集
- 8月 選考
- 9月 開講式（令和3年度第2回グローバルリーダー育成塾）
⇒ 講座全10回及び最終プレゼンテーションの実施（10月～3月）
- 4月 成績優秀者2名の決定（判断材料：英文レポート、最終プレゼン等）
- 5月 閉講式（令和4年度第1回グローバルリーダー育成塾）
- 8月 成績優秀者2名のスタンフォード大学訪問（現地表彰式）

第 1 回 10 / 9 (土)

①講 義「ディスカッションの技術」

【講 師】Kasumi Yamashita 氏

スタンフォード大学国際多文化教育プログラム インストラクター

Kasumi Yamashita : ニューヨーク大学を卒業後、外国語指導助手及び国際交流員として来日し、福岡県で勤務。その後、ハーバード大学で人類学博士号を取得（専門は文化人類学、国際教育学等）。国連日本代表部などでの勤務の後、現在はスタンフォード大学国際多文化教育プログラムのインストラクターとして、各種教育プログラムの企画や運営に携わる。

- 【内 容】・国内外の経験や幅広い学問など多様な価値観に触れる機会の推奨
- ・世界中の言語を学ぶ価値とその秘訣
 - ・“質問や意見を言う勇気”と“失敗する勇気”の大切さ

②オリエンテーション

【講 師】Kasumi Yamashita 氏

【内 容】・同大学が提供するオンライン学習プラットフォームの活用方法 I

〈生徒感想〉

- ・カスミ先生の海外経験の豊富さに驚き、自分も将来、カスミ先生のような世界中で色々な人の役に立つ人材になりたいと思った。
- ・周りの人についていけるか不安だったが、講座が終わった後、最初よりも勇気を持てた気がして自分に自信がついた。
- ・スタンフォード大学遠隔講座はめったに参加できない良い機会なので、無駄にしないようみんなに負けず果敢にチャレンジし、充実した講座にしていきたい。
- ・自分の成長のためには失敗や恥ずかしい思いが必要であることを学んだ。この講座でたくさんの失敗をして自分自身の経験値や可能性を増やしたい。

第 2 回 10 / 23 (土)

①受講者によるプレゼンテーション

【内 容】・郷土の食べ物をテーマに1人1分間英語でスピーチ

②講 義「プレゼンテーションの技術」

【講 師】Kasumi Yamashita 氏

スタンフォード大学国際多文化教育プログラム インストラクター

【内 容】・効果的なプレゼンテーションを行う秘訣

⇒ 多様なデータベース、明確な論理構成、練習とフィードバック

③オリエンテーション

【講 師】Kasumi Yamashita 氏

【内 容】・同大学が提供するオンライン学習プラットフォームの活用方法 II

〈生徒感想〉

- ・皆さんの発表は本当に素晴らしく、明るく陽気で、前向き且つ積極的な姿を見て、自分ももっともっと頑張らなければいけないと強く思った。
- ・同じテーマでも、発表者によってどの点を伝えたいかが異なっており、多くのことを学ぶことができた。
- ・分からない単語などがあった時に、チャット機能を使って教え合ったり、意見を交わし合ったりすることができて、大変有意義な時間となった。
- ・次回から本格的に起業家の講義が始まるということでワクワクが止まらない。

第 3回 11/20 (土)

①講 義「日系アメリカ人の歴史」

【講 師】Jan Johnson 氏

パナマホテル オーナー / 社会起業家

パナマホテル：1910年、建築家の小笹三郎によって設計されたシアトルのホテル。

戦時中、強制収容所に送られた日系人の家財道具を保管。1985年、閉館中の同ホテルを社会起業家のジョンソン氏が購入。その後、歴史的価値が認められ、現在は国定歴史建造物及び国宝に指定。

ベストセラー小説「あの日、パナマホテルで」（ジェイミー フォード作）の舞台としても有名。

【内 容】・戦前～戦後の日系アメリカ人の変遷と同ホテルの歴史的価値

- ・同ホテルがシアトルを活性化する上で果たしている役割
- ・ホテルツアー（日系人が遺した銭湯、手紙、写真、人形等を見学）

②質疑応答

Q：なぜ日系人の歴史を伝える必要があるのか？

A：人種隔離政策が行われた過去の歴史から学び二度と繰り返さないため 他
〈生徒感想〉

- ・パナマホテルは私たちや未来の世代に戦争という負の歴史を二度と繰り返してはならないということを教えてくれる教科書のようなものだと感じた。
- ・ジャン氏の「世界中の人々に歴史を伝え続けるためにパナマホテルを維持していく」という意志の強さに驚いた。
- ・感染症が収束したら、ぜひシアトルに行ってみたいと強く感じた。
- ・以前までは質問する人を眺めていただけだったが、今回は自分から手を挙げて発言することができ、自分自身の成長を感じた。

第 4回 12/18 (土)

①講 義「芸術と文化」

【講 師】Tara Tamaribuchi 氏

日系人アーティスト

Tara Tamaribuchi：絵画からパブリックアート、ジャーナリズムに至るまで、あらゆるメディアを活用して過去と現在を新しい未来に結び付けるシアトル在住の日系人アーティスト。

2017年より、第2次世界大戦中の日系人に焦点を当てたカモフラージュネットプロジェクトを主催。

【内 容】・戦争中に日系人が選択を迫られたアメリカ又は日本への忠誠

- ・戦後に東洋と西洋の文化が融合して完成した新しい芸術の形

②質疑応答

Q：過去の日系人収容所をアートスタジオに選んだ理由は？

A：自分のアイデンティティを感じると共に歴史を未来に残したいから 他
〈生徒感想〉

- ・国と国をアートの世界で繋げていくという考え方は、とても素敵だと思った。
- ・普段の授業では分からない戦争の実態や差別の状況に対して、私たちも何か行動を起こす必要があると改めて思った。
- ・グローバル社会において、背景が違う人と共存すると様々な形で差別は生じてしまうが、相手のアイデンティティを尊重する社会を支持したい。
- ・報道が全てではなく、体験した本人から本当の差別を知ることが大切であり、その感覚は、私たちが伝えていくべきものであると強く感じた。

第 5回 1 / 8 (土)

①講 義「SDGsと地方創生Ⅰ」

【講 師】Kasumi Yamashita 氏

スタンフォード大学国際多文化教育プログラム インストラクター

【内 容】・地方レベルでSDGsを達成する秘訣

- ⇒ 自分自身と身近な地域にとって意味のある課題設定
- ⇒ 一次情報に基づく根拠データと創造性溢れる解決策考案
- ⇒ 周囲の心と体を動かすストーリー展開と高い実現可能性

②受講者によるディスカッション

【内 容】・最終プレゼンテーションのテーマ検討

- ⇒ 環境問題、食料問題、教育問題、エシカル消費 他

〈生徒感想〉

- ・具体的でユニークな発想を目指して、更にテーマを練り直そうと思った。
- ・多くの人がテーマに挙げるものよりも、誰も知らない課題の方が面白いことが分かった。
- ・本質を見極めて、自分が求めているテーマは何かを日常でも探していきたい。
- ・クラスメイトが世界の問題に対して、どのような意見やアイデアを持っているのかをたくさん聞くことができた。
- ・今考えている案から大分が抱える問題を繋げて、1つのアイデアに絞りたい。

第 6回 1 / 22 (土)

①講 義「SDGsと地方創生Ⅱ」

【講 師】Kasumi Yamashita 氏

スタンフォード大学国際多文化教育プログラム インストラクター

【内 容】・SDGsを体現する地方創生を実現した起業家の事例

- ・SDGsの観点から見た第1回～第5回講座の振り返り

②受講者によるディスカッション

【内 容】・最終プレゼンテーションの中間発表

- ・受講者間の相互フィードバック
- ・多様なアイデアを組み合わせたイノベーションの創出

〈生徒感想〉

- ・英語でこれだけ長い時間話したり聞いたりする機会は経験したことが無かったが、スキルが上達していくのが、目に見えて分かるようになってきた。
- ・仲間からのアドバイスがとても有益だった。自分らしいプレゼンテーションが出来るように頑張りたい。
- ・それぞれオリジナリティのあるトピックで素晴らしかったし、自分の知らない大分県のことを知ることができて、有益な時間だった。
- ・緊張しながらも自分の考えを英語で伝えることや、沢山の人の意見を聞くことなど、貴重な経験をすることができた。
- ・講師の先生が、プレゼンテーションのコツやスライドの作り方を教えてください、勉強になった。
- ・自分のトピックのことを他の受講者に質問すると、一生懸命考えながら答えてくれて嬉しかったし、前回より成長することができた。

第 7回**2/12(土)****①講 義 「シリコンバレーと起業家精神 I」****【講 師】 Nik Loannou 氏****Spira 共同創業者**

Nik Loannou : シアトル出身。ワシントン大学 (コンピューター・サイエンス専攻) に在学中、Sage Khanuja と共に、医者と患者をオンラインでつなぐデジタルヘルス関連のソフトウェア “Spira” を開発。2021年、Galileo (Virtual Healthcare Company) 社に売却し、現在、同社で活躍中。

【内 容】・高校中退から大学の早期入学を経て起業に至った経緯

・起業を通じて社会を動かす秘訣

⇒ 解決策よりも課題ファースト (1人の課題はみんなの課題)

⇒ 多様な場所と出会いを通じたインスピレーションの獲得

⇒ 自分の苦手分野を補ってくれるチームの結成

②質疑応答

Q : アメリカの医療格差についてどのように考えているか?

A : 旧来型医療をテクノロジーの力でアップグレードして解決したい 他

〈生徒感想〉

- ・チャレンジ精神と身の回りのチャンスを自分のものにしていく姿に感激した。
- ・同年代の人が会社を立ち上げ、大学で学びながら事業を進めているという事実にとっても驚いた。
- ・ある問題を1つの方向から見たり考えたりするのではなく、様々な角度や視点から見るのが大切だと気付かされた。
- ・他の誰かのために自分自身が行動するという姿勢に、大変感銘を受けた。

第 8回**2/26(土)****①講 義 「シリコンバレーと起業家精神 II」****【講 師】 Sumire Hirotsuru 氏****バイオリニスト / Smilee Entertainment 社 CEO**

Sumire Hirotsuru : 大分市出身のバイオリニスト、起業家、作家。Smilee Entertainment 社 CEO。ハーバード大学 (学士課程)、ジュリアード音楽院 (修士課程) とともに首席卒業。2018年にニューヨークで音楽コンサルティング会社を起業。演奏、講演、執筆、教育活動に加え、TV へのコメンテーター出演や、ビジネス講演とコンサートを掛け合わせた講演演奏会シリーズの実施など、多方面に活動を展開中。

【内 容】・ハーバード、ジュリアードでの学びと起業家としての歩み

・短期～中期～長期の目標管理術と時間の効果的な使い方

②質疑応答

Q : ポジティブマインドで高いモチベーションを保ち続ける秘訣は?

A : 環境を変え、本物に触れ、ルーティンを設定すること 他

〈生徒感想〉

- ・世界で活躍している方が私達と同じ大分出身であることに、自分も世界で通用するような人物になれるかもしれないと勇気をもらった。
- ・自分の視野やコミュニティを広げるためにも、広く深くの精神で取り組むことが大切だと気付かされた。
- ・大きな目標達成のために細かい計画を立てて励む姿勢を私も是非見習いたい。

第 9回**3/12(土)****①講 義 「日系アメリカ人の歴史Ⅱ」****【講 師】 Kasumi Yamashita 氏**

スタンフォード大学国際多文化教育プログラム インストラクター

- 【内 容】**
- ・日系アメリカ人の政治家（ノーマンミネタ：第59代サンノゼ市長、第33代商務長官、第14代運輸長官を歴任）からのメッセージ
-
- ・日系アメリカ人がアメリカ社会に与えた影響

②受講者によるディスカッション

- 【内 容】**
- ・急激に変化する世界情勢において私たちが果たすべき役割
-
- ・最終プレゼンテーションの事前準備

<生徒感想>

- ・日本人やアメリカ人になることとは、市民権とは何なのかなど、生まれた時から日本人という認識がある私にとっては深く考えたことがない問いかけだったため、新たな視点や考え方を持つきっかけとなった。
- ・自分の意見を考えても、それを英語でどう表現するか、即座に考えて人に伝えることの難しさに改めて直面した。これから社会問題等について英語で話す機会も増えると思うので、今回すぐに英語で表現できなかった反省、悔しさを生かして、別の機会ではもっと話せるようになりたい。
- ・自分の意見を英語で伝えることに対して苦手意識を持っていたが、勇気を出して発言した時のクラスメイトのリアクションに励まされ、今回のディベートを通して少し自信が持てるようになった。

第10回 3/13(日) 19(土) 20(日)

① 受講者によるプレゼンテーション「最終プレゼンテーションⅠ～Ⅲ」

【内 容】「Learn about war and peace through the naval air base bunkers」
「Connecting cities and local with aroma」
「The tradition of “Ontayaki”」
「Let’s help reduce food waste with OSC MARKET」
「Early childhood education」
「Save Oita Onsen by using technology」
「Concentrated hot spring」
「No charity but chance ～Taiyo No Ie～」
「Save our nature」
「New initiatives to reduce food loss」
「Our sustainable life with bamboo products」
「Population increase and ECO city」
「Children’s Cafeteria」
「The decreasing population of Saiki」
「Change the school regulations to free education」
「Living in the second house of three piglets」
「Onsen-ken Oita」
「Regional Development」
「The secret of milk」
「Food support for everyone living in Oita」
「Historical building “Kangien”」
「Protect Oita’s nature, support Oita’s tourism」
「The importance of nature ～interacting with animals～」
「Advantages of reduce and efforts of Oita prefecture」
「Community medicine」
「Nanase Dam」
「Making population growth and electric bills free」
「New education style based on output」 他

② スタンフォード大学による講評

【講 師】 Kasumi Yamashita 氏

スタンフォード大学国際多文化教育プログラム インストラクター

Gary Mukai 氏

スタンフォード大学国際多文化教育プログラム ディレクター

Gary Mukai : カリフォルニア大学バークレー校・スタンフォード大学を卒業。日米関係および日系米国人の経験を考察するカリキュラムを数多く作り上げてきた。1997年にはアジア・スタディーズ協会よりフランクリン・ブキャナン賞を受賞。2007年には外務大臣表彰、15年にはアジア太平洋米国アラムナイ・クラブよりスタンフォード大学アラムナイ賞、17年にはスタンフォード教育学大学院の教育分野におけるアラムナイ優秀賞を受賞し、同年、日本政府より旭日双光章を授与された。

生徒感想（一部抜粋）

- この講座を通して沢山のことを学び、沢山の考えや価値観を知ることができました。長い人生の中でも、本当に大きな貴重な体験でした。私はいつか必ず、シアトルやブルックリンに行きたいと思います。そして、今回の学びを、沢山のの人に共有していきます。本当に一年間ありがとうございました。
- 長いようで短かったこの期間ですが、最初は思ったよりも英語のレベルが高くて、とても辛い思いをしました。しかし、先生やゲストスピーカーがとても優しく、最後まで参加できました。この期間で、本当に英語が上達し、プレゼンテーションの能力も上がったと思います。
- 半年間とは思えないほど早く終わってしまったように感じています。それくらい充実していて楽しい時間だったのだろうなと自分で思っているところです。最初は、雰囲気をつかむことで精一杯で、中々自分の言いたいことを英語で話せない時もあったのですが、段々慣れていき、同じクラスメイトや先生とのコミュニケーションも楽しいと感じる時が多くなりました。初回に先生が、Be brave! と私たちに言ってくださったのは今でも忘れていませんし、「1%でも前の自分より勇敢になって欲しい」という言葉は、この先もずっと私の心に残り続けるだろうなと聞いた瞬間から思いました。また、一緒に講座を受けているクラスメイトからも、たくさんのことを学び吸収することができました。最後にこの講座に参加してくださった全てのゲストスピーカーの方々、また、先生とクラスメイトに感謝すると同時に、出会えたことを心から嬉しく思っています。本当にありがとうございました。楽しい時間でした。
- 半年間ありがとうございました。最初にこの授業を受けた時は話についていけず、本当にやっていけるのかと不安を感じていました。しかし、授業がとても面白く、みんな自分の意見や質問を持っていて、大分にこんな意欲的な高校生がたくさんいるのかと思い、すごく刺激を受けました。先生もクラスメイトも優しく、失敗を恐れない環境で、自分の英語を披露することができて嬉しかったです。ゲストスピーカーの方々も、普段生活していたら絶対に関わったり、話を聞いたりすることができないであろう方々ばかりで、本当に有意義な時間を過ごすことができました。このプログラムに参加してよかったと思っています。本当にありがとうございました。
- 初めの方はとても緊張して、何も話すことができませんでした。しかし、最後のプレゼンテーションでは英語で発表することができ、とても楽しかったです。また、普段の講座では、様々な外国のスピーカーの話聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。宿題のビデオを見るのも、とても面白かったです。一年間お世話になりました。
- 講座が始まった当時は、英語を話すことに自信が持てず、自分から意見を出すこともできずに悔しさを感じていましたが、先生のポジティブなアドバイスやクラスメイトの雰囲気に励まされ、回数を重ねるにつれて積極的に質問や発言をするようになりました。また、この半年で様々な分野で活躍している方々のお話を聞き、広い視野を持てるようになったと思います。自分から行動すれば可能性は無限大なのだなと強く感じられました。この経験をこれからの将来に活かして自分の夢を実現したいです。

- 半年間、本当にありがとうございました。初回の自己紹介から始まり、最終的に5分間のプレゼンテーションができるまで英語力が向上したことは、未だに信じられません。そして、今回学んだ様々な世界の問題は、この講座を受けていなければ、これから先も知ることは無かったと思います。また、自分の知識を広げながら、自分たちで解決策などを考えるなど、今まで考えたこともなかったことをたくさん考えることができ、本当に有意義な時間でした。小さな勇気が大きな勇気に繋がる、、、最初はみんなの前で発表するのもすごく緊張し、できれば静かにしていきたいと思いますでしたが、自分の思いを発表することの重要性を先生からたくさん学びました。この講座を通じて、辛いこともたくさんありましたが、辛いことよりも学んだこと、楽しかったことの方が断然大きく、本当に受けることができ良かったと思っており、これで終わりなのかと思うと、とても寂しいです。これからも英語を勉強して、もっと自分の気持ちを表現できるようになりたいです。お世話になりました。
- この講座に参加することで、自分の意見を英語で伝えることの難しさを知ると同時に、勇気を持って自分から進んで発言することの大切さを学びました。また、英語を話す力、聴く力も身につけて、英語での表現の幅が大きく広がりました。色々なゲストスピーカーの話を聞くことで新たな視点や考えを持つことができるようになり、非常に良かったです。自分と同年代の仲間が、多くの人の役に立つことをしていて、自分も見習いたいと思いました。
- 私はこの講座への参加を決める時、英語力に自信がなくて緊張していましたが、参加しているクラスメイトが、勇気を持って発言している様子に支えられました。最後のプレゼンテーションでも、それまでのクラスメイトの発表が自分の発表の参考になりました。一年間を通して英語が好きになれました。また、喋りたいのにどう言えばいいのかわからないもどかしさも感じたので、もっと上達したいと思います。一年間ありがとうございました。
- たくさんのゲストスピーカーのおかげで、さまざまな視点から物事について考えることができました。同じ仲間の英語力に圧倒され、不安なことも多かったのですが、最終プレゼンテーションで自分の考えていることを伝えることができ良かったと思います。
- 私にとって、この講座は初めて受講した大学の講座で、しかもそれが全て英語。難しいだろうと考えつつも、やってみたいという思いがありました。元々英語で話すことが好きだったこと、自分の視野をもっと広げたいと思ったことがきっかけで応募を決めました。実際に参加すると話の内容が難しく、英語が理解できない、自分の伝えたいことを英語にできない、という壁にぶつかりました。講座の前の課題も理解するだけでもかなり難しかったです。最後の方の講座では、話の内容も大分わかるようになり、難しい単語なども先生の解説を聞きながら理解できるようになりました。自分自身の課題は、自分の考えていることをもっと分かりやすく、素早く伝えるようにすることです。このような課題に気づくことができたとともに、各業界で活躍されている方のお話を聞ける貴重な機会になりました。これからどんな力をつけて、どんな勉強をすればいいのか、直接教えていただいたことも多く、勉強のモチベーションも高くなりました。この講座で本当にたくさんの物を得ることができました。難しく感じていましたが今では本当に参加して良かったと思っています。

- この講座では、ゲストスピーカーの方から色々な考え方や物の見方を学べ、他校の人たちの英語を聞いて、もっと頑張ろうと刺激をもらえました。自分から発言するのが苦手なのですが、最後は積極的に発言できたと思います。日本に住んでいると海外のことはあまり分かりませんが、ゲストスピーカーの方から色々な話を聞いて、もっと世界に目を向けていきたいと思いました。
- 私はこの講座を通して多くのことを学び、自分の視野が広がりました。初めは英語を話すのにも慣れていなくて、他のクラスメイトのすごさに驚き、不安が多かったのですが、同時にもっと英語がうまくなりたい、みんなと話したいとも思いとても良い刺激になりました。日系アメリカ人の歴史、パナマホテルの歴史、起業家の方々のお話など、普段の生活では得ることができないような貴重な経験をするのができ、とても有意義な時間でした。最初は英語を完璧に話さなくてはいけないと思い、難しくて自分から発言することはできませんでしたが、先生がいつも私たちを励ましてくれ、チャンスくれたので、この講座を受ける前と比較して、失敗を恐れない力が身についたと思います。また、リスニング力も上がり、英語を勉強することの楽しさが改めて分かりました。最終プレゼンテーションでは英語でプレゼンをするのも作るのも初めてで、どうしたらいいか分からず、悩むこともありましたが、最後には自分の納得のいくものができ、自信をもって発表することができました。この講座で得た力、知識などをこれから色々なことに活かしていき、いつかクラスメイトのみんなや先生、講師の方々に会えるように頑張りたいです。本当にこの講座に参加できてよかったです。半年間ありがとうございました。
- この講座を通して印象に残ったことは最終プレゼンテーションです。一人ひとりが様々な観点のテーマでプレゼンテーションを行っており、毎回新しい発見がありました。この経験を活かしてこれから頑張りたいと思います。
- 初回から2回目まではまだ英語で発言することにもものすごく緊張していて、みんなの前で発表したり意見を述べたりすることに前向きに取り組めませんでした。回を増すごとに質問や意見を進んで発表できるようになり、最後には英語でスラスラとプレゼンすることが出来たので、この講座を通して自分が大きく成長できたように感じます。自分より発音が綺麗で、ネイティブのようにハキハキ喋るメンバーもいて、これからの英語の勉強の励みになりました。また、ゲストスピーカーはいつも世界の最前線で活躍している方ばかりで、そのような方から話を聞けることは本当に貴重で、自分のグローバルな視野を広げることができました。最後に英語でプレゼンを成功することができたので、以前まで自信が無くてできなかったことにも前向きにチャレンジできそうな気がします。先生やゲストスピーカーの方には本当に感謝しています。何年か後に自分の夢を叶えることができた時、胸を張って先生に夢を叶えられましたと挨拶がしたいです。
- 今日何か言おうと思ったけれど、結局文法がぐちゃぐちゃな英語を話してしまいました。最初から最後までこのような話をしてきましたが、こういうことが積み重なって英語が真の意味で上達するはずです。失敗をバネに頑張ります。
- 最初は先生の話していることが分からず、困惑することもありましたが、徐々に自分の英語力の伸びを感じる事ができました。普通に生活していたら話せない方々と会話できたのは貴重な経験でした。先生はいつも優しく私たちを導いてくれました。先生やクラスみんなが助けてくれて嬉しかったです。

- 皆の英語力やプレゼン力、アイデア力に終始驚き続けていました。色んなアイデアや、意見、課題などたくさんを知ることができて良かったです。
- 1回目は全然積極的になれなくて、仲間の積極性や英語力に圧倒されましたが、2回目以降は、「この全10回と最終プレゼンテーションで絶対後悔しないように一つ一つの講座を大切にしよう」と自分の中で決めて臨みました。課題が大変だったり、英語についていけなかったりと苦しい時もありましたが、この講座に参加していなければ知らなかったことや出会わなかったこともたくさんあり、自分の視野を広げることができました。どんな講座でも、事前課題をしっかりと、1回は質問することを心がけて講座に臨むことで、一つ一つの講座が有意義なものとなりました。この講座を通して、英語の4技能の向上はもちろん、意見を持つことの大切さ、プレゼンなど伝えることの難しさなどを学びました。私は吹奏楽部で、講座と両立させるのが辛くて、キツくて、最初の頃は負担にしか思えず参加したことを後悔しかけた時もありましたが、先生やゲストスピーカーの方、e-Oita students など素敵な方々との出会いを通じて自分の世界が広がり、今では参加して本当に良かったと思っています。ここで学んだことを必ず将来生かします。本当に素晴らしい経験をありがとうございました。
- この講座を通して、英語を話すことに自信を持つことができました。講座では、英語だけを話す環境で最初はすごく緊張しました。最初に先生が質問したことに対して、最初に答えることができ、自分の英語がアメリカ人に通じたということがすごく嬉しかったのを今でも覚えています。事前に父から、積極的に話さないと何も得られないよと言われていたので、文法がおかしくてもなんでもいいから話そうと決めていましたが、実際に話そうとミュートを外した瞬間はとても緊張しました。しかし、勇気を出して話したことで自信が生まれ、次に話す時は前回よりは幾分緊張は薄れました。最後まで、英語を話す前の緊張というのは消えませんでした。通じた後の喜びをたくさん味わうことができました。ゲストスピーカーからの話を聞く時はしゃべるスピードが速く、聞き取れなかったことも多々ありました。そして質問タイムでは、日本語を全く喋れない人に自分の英語が通じるのか、すごく不安でした。講座の前に質問を考え、何度も練習して臨んだことで、外国人にも英語が通じ、すごく嬉しかったです。また、素晴らしい経歴を持ったゲストスピーカーの方々の話は圧倒されるばかりでした。普段の学校などで開催される参加自由の講演会などは、自分が興味を持っている分野の時だけ参加していたので、今回の講座で自分の人生とは無縁であった分野にも興味を持つことができました。特に私は音楽に昔から苦手意識が強かったのですが、スミレさんの話を聞き、将来クラシックのコンサートに行ってみたいと思うようになりました。最終プレゼンテーションは、テーマから解決策まで1から考えるのに苦戦しました。また、プレゼンを作った後も、どこが一番大切でどこを一番強調しようか考え、何回も読む練習をしました。実際にプレゼンをしたときは、すごく緊張して、何回も噛んでしまいました。もう少し上手く言えたのではないかと、少し悔しかったけれど、達成感を味わうことができました。そして、先生方からコメントをもらい、自分が一生懸命頑張ったことに対して評価してもらうことはこんなにも嬉しく、誇らしいことなんだと、改めて知ることができました。今回の講座に参加して、本当に良かったと思いました。今までありがとうございました。

・ホームルームでスタンフォードと聞いて驚いたことを覚えています。自分自身の語学力には全く自信がありませんでしたが、授業内容などの詳細を読み参加したい気持ちが強くなりました。このチャンスを絶対に良いものにしたいと決意し応募を決めました。最初は自分の語学力を心配したり、不安に思ったりして授業に積極的に参加することができない時が続きました。応募当時の気持ちを思い出し、段々と授業に向き合うことができてきた気がします。授業に真剣に向き合うことができるようになったのは、もちろんスタンフォードの先生のおかげでもあります。先生の言葉の中で印象に残っているのは、「なんでみんなは最初から100%にしようとするの？」という言葉です。その言葉を聞いて、初めから正確にできる人はいないし、客観的に見れば最初から100%にしようとする道は段々と50%、70%にしようとして失敗を積み重ねていく道より遠回りだと気づきました。半年間の授業を振り返ってみると「世界メガネの視点を持ち、地域メガネで大分の課題を解決する」ことを学ばせてもらったと思います。前半で海外のゲストスピーカーのお話を聞いて世界メガネを持つことができました。後半では、実際に地域メガネを使って地域の困りごとを見つけ、いろいろな人にインタビューをしてプレゼンテーションにまとめました。回を重ねることに、語学への抵抗感がなくなっていった気がします。語学は相手を理解するための手段であり語学は目的ではないことが分かりました。学校の授業のみではどうしても私たちと語学との距離が離れてしまいましたが、語学学習は意外と身近にあると感ずることができました。授業やディスカッションする内容など、どれも興味深く学べるものがたくさんありました。いつも、次の授業を心待ちにしていたのを覚えています。なぜ、学べるものがたくさんあったのか？それは、授業の中で世界メガネを使って物事を考えることができたからだと思います。国際平和のために異文化理解、国際理解が必要だと良く言われますがその意味が分かったような気がします。実際にゲストスピーカーのお話を聞くと、一つの物事でも自分から見た捉え方と相手から見た捉え方はずいぶん異なっていることに気づきました。捉え方や考え方はどれも違うけれど、どれも正しいと思うことができるようになりました。学校の授業ももちろん大切ですが、学校ではなかなか学べない生き方や考え方を教えてもらい、自分自身の選択が大幅に広がったのは間違いありません。学校のみが正解ではなく、他にも正解があるのかなとも思いました。一気に視野が広がりました。その一つとして、僕はこの経験などからもっと海外でさまざまな体験をしたい、世界メガネの視点も持てる人になりたいと思い、1年間の高校留学をすることを決意しました。日本や大分の課題を解決するために、己を磨いていきたいと考えています。留学で体験したことや学んだことを大分や日本に還元できるようにしたいです。僕の留学の目的は己を磨くためです。僕は将来なりたい職業が決まっていません。明確な目標を持つことが大切だと良く言われますが、職業を決めていません。それは、今はVUCAの時代だからです。自分なりの考えとして、職業を今決めたとしても、10年後の職業や求められることは大きく変わるので、今の青年期の時間を一つの目標のみにコミットすることはもったいないと感じるからです。どんな時代でも対応していく力こそが求められていると思います。そのためにあらゆる体験を通して、己を磨いていきたいです。全国に友達がいて、このような大分県内でのスタンフォードとの取り組みは珍しいと教えてもらったことがあります。大分県に住んでいてよかったです。

- この講座を終えて、たくさんのことを経験し、たくさんのことを学べたと感じています。最初は、みんなの英語の発音の良さやコミュニケーション力の高さに圧倒されて、素晴らしいと思うと同時にとても不安になりました。しかし、先生のBe brave!という言葉に勇気づけられ、「この不安をこれから頑張る活力に変えていこう」と前向きに考えることができました。毎回の講座で、ゲストスピーカーがどんな話をしてくれるのかとても楽しみにしていました。今まで自分の興味のなかった話も、興味のある話も聞くことができ、自分の知識が増え、視野も広がったと思います。事前課題では、内容や記事中の単語が難しく理解できなかったり、感想や自分の考えを英語で書くことが難しかったりと最初はかなり苦戦しました。しかし、分からないなりに、丁寧にこなしたことで、英作文力と単語力がついたと思います。英検やGTECなどの検定で、自分の考えをスラスラ書けたので、英作文力は特に伸びたと実感しました。最後に、最終プレゼンを作るにあたって、改めて自分の住むまち「別府」について知ることができました。自分が特に伝えたいことは何なのか、聞いている人に自分が伝えたいことを伝えるにはどうするのが良いのか、「聞きたい!」と思ってもらえるプレゼンにするにはどうしたら良いのか、ということたくさん考え、周囲の人にたくさんの意見をもらい、やっと完成したプレゼンでした。私は、ゲストスピーカーがいるときに積極的に質問が出来なかったので、プレゼンだけは時間をかけて素晴らしいものにしよう、自信を持って発表できるようものにしよう、と決めていました。それを最後に達成できた自分自身で思っています。このプレゼンで、先生方に別府の温泉と温泉染の魅力を伝えることができ、「別府に行きたくなった!」と言葉をもらったのでとても嬉しいです。最後に、この講座に参加して本当に良かった、この講座を通して成長できたと思います。以前より、自分に自信を持ち、色々なことに挑戦できると思います。これからはこの経験を活かし、自分のやりたいことに怖がることなく挑戦し、何かを実現できる人になりたいです。半年間本当にありがとうございました。